

議事録

日 時	令和 5 年 2 月 2 日（木） 10：00～12：00	
場 所	河内長野市役所 5 階 501 会議室	
議 題	第 9 回河内長野市 UR 南花台団地集約跡地活用整備事業推進委員会	
出席者	推進委員	9 名(内 2 名 web にて出席)
	事務局（河内長野市政策企画課、 （株）ユーデーコンサルタンツ他）	9 名
資料等	第 8 回推進委員会議事録 【資料 1】 提案内容比較表（案） 【資料 2】 第二次審査（審査基準及び採点表）（案） 【資料 3】 第二次審査（審査基準及び採点総括表）（案） 【資料 4】 第二次審査（点数一覧表）（案） 【資料 5】（仮称）南花台中央公園整備計画についてのアンケート結果概要 【資料 6】 アンケートに対する回答資料 【追加資料】（仮称）南花台中央公園 道路整備にかかる警察協議の概要	
議 事	1. 開会 2. 案件 （1） プロポーザルについて ・ 参加資格審査の結果説明 ・ スケジュールの確認 令和 5 年 2 月 6 日 提案書締め切り 令和 5 年 2 月 20 日 ヒアリング ・ ヒアリング当日のタイムスケジュールの説明 ・ 採点方法の説明 （2） 住民アンケート・説明会について【資料 5】【資料 6】 ・ 南花台の全戸にパンフレットを配布し、アンケート結果を集計した。 アンケートは紙と WEB で実施し、296 名の回答を得ることができた。WEB での実施により 20 代から 30 代の回答も増加した。 ・ 1 月 29 日の説明会では約 80 名参加いただき、事前のアンケートでの質問や意見への回答及び当日参加した方からの質問に回答した。 個別の質問や要望が多い印象で、特に安心安全に関すること、公園利用と管理に関することの意見が多かった。 以下、推進委員会意見を記載 ・ ピロティ空間について回答しているが、今後必ずしもピロティができるわけではないので大丈夫か。 →基本計画策定段階の計画であることを前提に説明している。今後設計段階で変わっていくことは住民の方に説明済み。現段階ではあくまでイメージとして説明を行った。 ・ 今回中学生 17 名の参加があったが、今後より多くの子ども達にも興味を持ってもらうためにも、小学校・保育園などでの説明会も検討する。	

→29日の説明会の後、31日に南花台中学校で生徒たち向けに説明と質疑応答を行った。今後も子どもたちがこの事業に参画できる機会を増やしていく。

- ・パーククルーの一員として子どもたちのコミュニティの意見も取り入れていきたい。
 - ・アンケート結果から第10公園の使われ方に関する住民の心配が多い印象を受ける。
- 学校がない時間帯をどう地域に開放していくかを教育委員会と検討している。

(3) その他

- ・道路協議について

南花台中央公園の整備にあたり、大阪府警本部交通規制課と1号線の道路整備に関わる3つの項目について協議した。警察からの意見は以下の通り

①北側交差点のスクランブル化による歩車分離について

車の混雑を懸念して、交通量があるところではスクランブル化していない。また、平日などそれほど歩行者の往来がない場合にも無駄に車が待たされることも考えられる。計画の駐車場台数から見ても、この施設の規模であれば整備する必要が感じられない。

②南側横断歩道の幅員拡幅について

横断歩道の幅員は基準で4mと決まっており、拡幅には根拠が必要。また、幅を広げることが必ずしも安全性につながるとは考えられない。

月数回の混雑時のみを考えての拡幅は不要ではないか。

③南花台1号線南行き道路への右折レーン設置について

右折で入ることを警察としては推奨していない。右折インのすぐ後にも交差点があるため危険性も高い。また、中央分離帯は高速で走る車を抑制する安全面での効果があるが、右折レーンをつくるにあたり、中央分離帯も撤去することは安全性を下げ、利便性をとっているようにも見える。事例として交通量が多い場合に中央分離帯を撤去するということはあるが、今ある安全設備をあえて撤去する必要はないと考える。

以下、推進委員会意見を記載

- ・住宅地は歩道も狭く、住宅地に入る車が増加することは住民から相当反発がでると考えられる。
- ・月に2回程度の公式戦であれば、右折レーンを設置したとしても、交通指導員による交通整理で、危険にならないのではないかと。
- ・歩行者が往来する場所をまたいで右折での施設インは難しい。真ん中からの右折インにこだわらず、車路を少し変えるなど施設へのアクセス動線を見直す必要がある。
- ・1号線が街区内どちらの危険性を想定するのかで対策が変わるので、今後場所ごとに詳細に協議を進めていく。

3. 閉会

以上